

# 東海地震とその防災対策

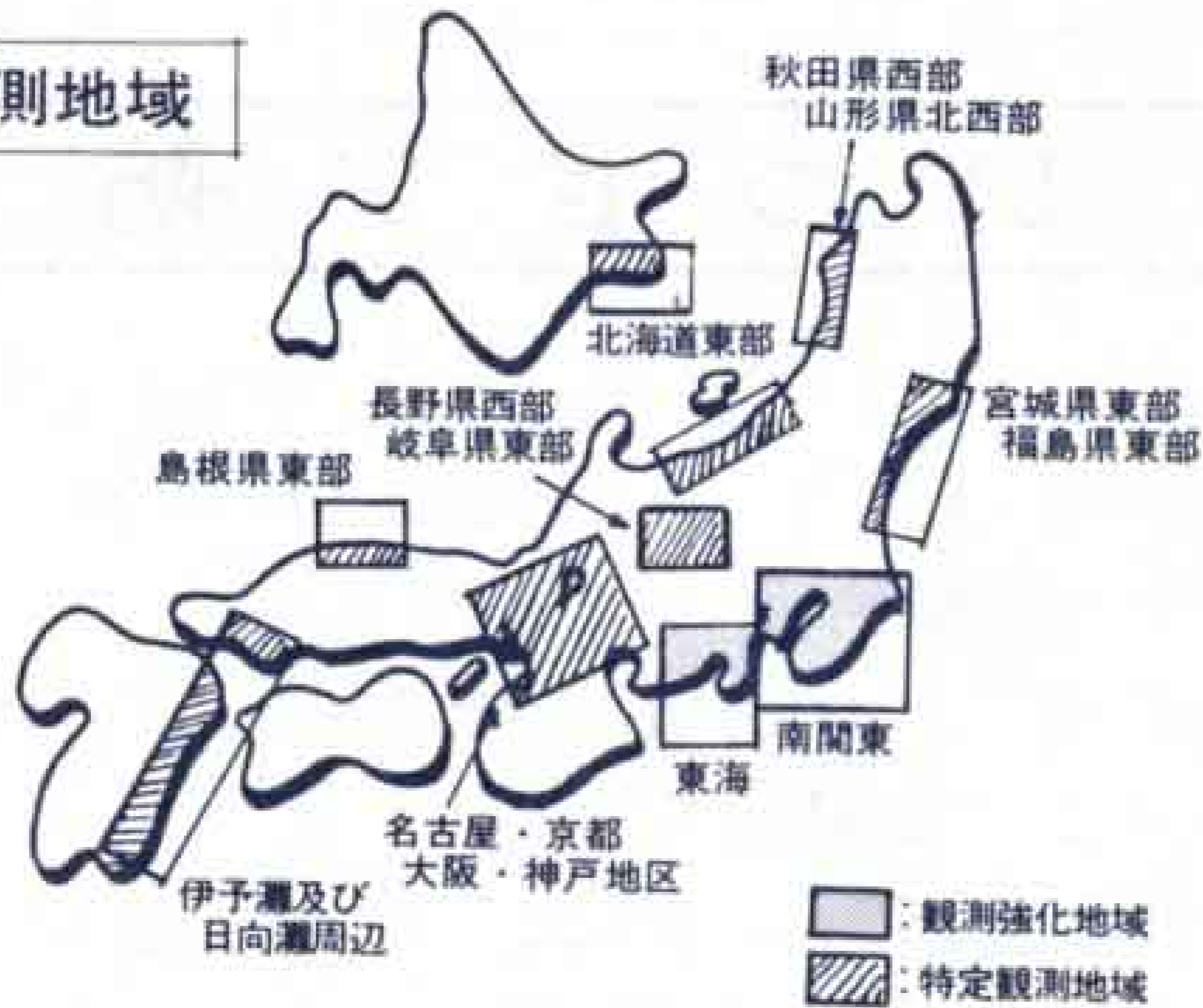
## 地震の観測と予知

### ■観測地域

地震国日本では、全国にきめ細かい観測の網の目をひろげておくことが理想ですが、急には無理です。

そこで、国の地震予知連絡会では、重点的な観測を必要とする地域を指定しています。

地震観測地域



### ——観測強化地域——

ここは、地震の前兆ではないかと思われる何らかの異常現象があるところです。ここでは、地震計、傾斜計、体積ひずみ計、地下水観測井などを使い、テレメーターを用いた常時観測を続けています。

静岡県は、この地域に含まれていて、近く、大規模地

③

震対策特別措置法によって「地震防災対策強化地域」として指定されます。

### ——特定観測地域——

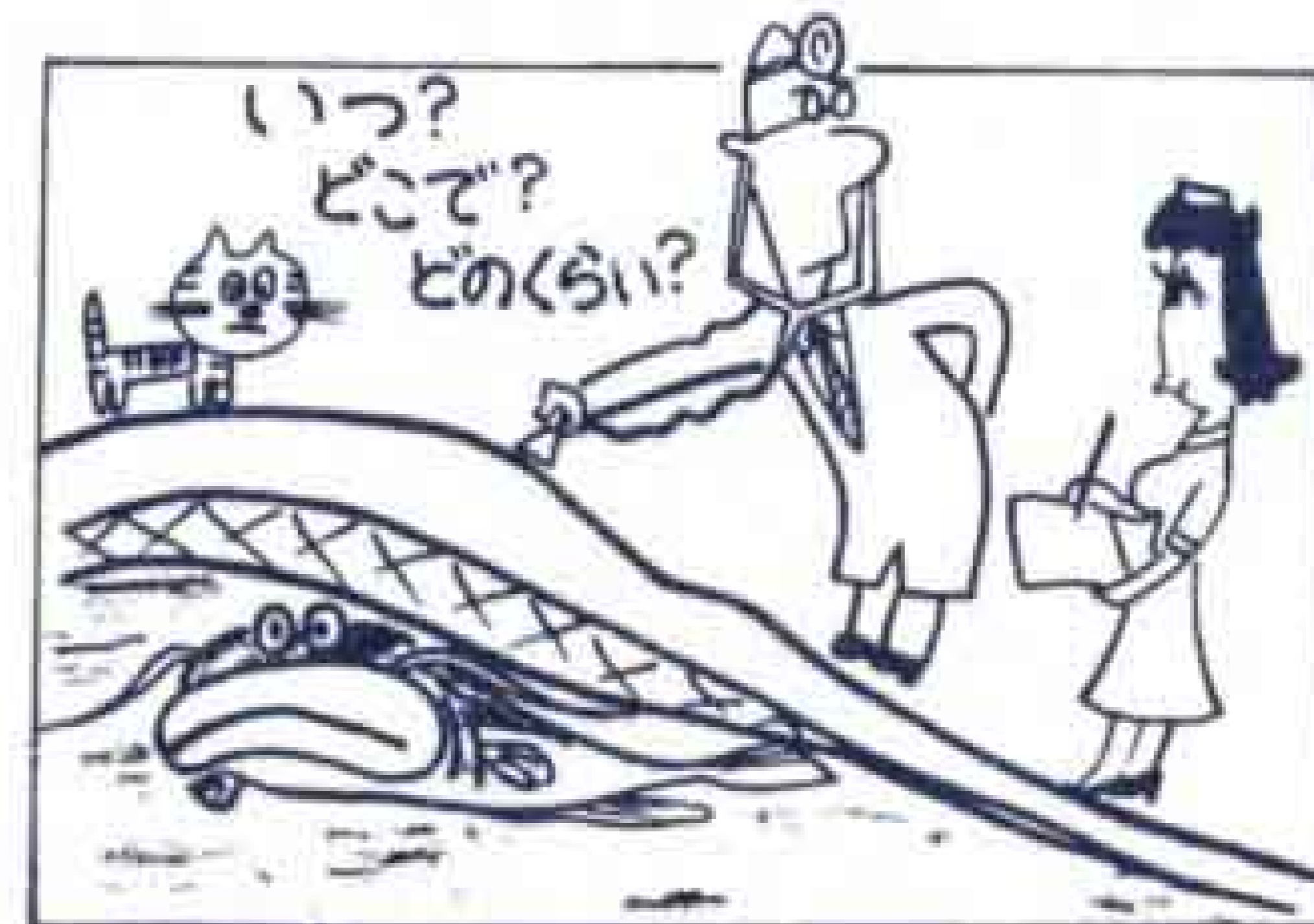
ここは、むかし大地震があり、ほかに比べ地震が起こりやすいところです。ここでは、常にいろいろな現象に注意しています。

### ■予知体制

地震は地球をおおっている岩石の大規模な破壊現象です。詳しく調べてみると、地震には大なり小なりの前兆があります。

岩石がこわれるときには、まず小さな破壊が起こり、続いて大きな破壊となります。このことから地震が起こりそうな地域内のできるだけ多くの場所に、いろいろな観測装置を置き観測を続ければ、地震の前兆をとらえることができるのではないかと考えられます。

これが「地震の予知」です。



## グループ訪問 ③

### サンショウは小粒でピリリと辛い

#### 元吉原野球スポーツ少年団

「前だ、前だ」、「正面で取れ、正面で」必死にボールに食らいつく子供たちに、ノックするコーチの声が飛ぶ。この守備練習の間に、今年で4年目になるこのチームについて監督の渡辺哲さんに聞いてみました。

- ・練習は 「週3回、元吉原小のグラウンドで、午後5時から7時ごろまで。雨が降るとルールの勉強です」
- ・入団できるのは 「4年生以上の元小の児童。しかし3回無断で休むとクビです」
- ・部員は何名 「49名。ほとんど出て来ますよ」
- ・ライバルと今年の成績は 「須津チーム。11勝4敗、須津チームとは1勝1敗です」
- ・チームの特長は 「ねばりのチームです。打つよりもスキをついて点を取る。1点差や逆転の試合が多いチームです」
- ・野球から得てもらいたいものは 「根性と努力すれば必ず報われるということですね」
- ・今年の目標は 「県大会での優勝です。現在、市内東部のベスト4に入っています」



午後6時、守備練習が終った。子供たちに集まってもらう。全体的に小柄である。汗をそででふきふき整列。帽子をとってあいさつ。全員、坊頭である。

- ・監督はどんな人 「きびしいけど、やさしいおとうさんみたいな人」
- ・テレビと野球どっちが好き 「野球に決まっているじゃん。でもテレビ見てえなァ」
- ・中学、高校へ行っても野球したいかい 「したい。できれば甲子園に行きたい」

このあと、試合に備えて練習試合。さすが足のチームよく盗塁、バンドをする。

午後7時すぎ、夏至の長い太陽も沈み試合終了。